

「安房地域の図書館史」語る

安房歴史文化研究会 25日に館山で公開講座

安房歴史文化研究会の語る。資料代として20今年度第1回の公開講座(通算59回)が、25日

午後2時から、館山市北条の市コミュニティセンターで開かれる。安房文化遺産フォーラム会員の関和美さんが「安房地域の図書館史」のテーマで

鋸南町の「御大典記念私立奥山文庫」や、1912年(明治45)に設置された館野村(現館山市)の「簡易図書館」などがあるという。

安房地域で明治期に設置された文庫・図書館には、1903年(明治36)に開設された佐久間村(現

文化活動のリーダー的存在であり、その後、鴨川町図書館長として功績があった医師、原進一氏を中心に取り上げる。あわせて今を生きる安房の「図書館人」に求められていることを考察するという。

問い合わせは、事務局の石崎和夫さん(047-0-23-6677)へ。

図書分類簿

安房高等女学校

図書分類簿(関さん提供)

「学校図書館」については不明なことが多いが、県教育史に位置付けられる旧安房南高等学校資料を確認している中で、学校図書館に関わる貴重な資料が発見された。その資料を検証するとともに、戦後日本の学校図書館の発展に重要な役割を果たした、長狭高等学校図書館活動の資料などを紹介する。